

第 17 回 ADMiC 行政文書管理セミナー プログラム

統一テーマ：公文書管理法のいまと自治体の対応

日時 平成 25 年 7 月 25 日(木)
場所 日本記者クラブ
〒100-0011
東京都千代田区内幸町 2-2-1
日本プレスセンタービル 10F
電話：03-3503-2722
主催 行政文書管理改善機構／ADMIC

開会のご挨拶 10:00～10:05 ADMiC 理事長 廣田 傳一郎

講演 I 10:10～10:55

静かな革命－公文書管理法がつくる行政のかたち

行政分書管理アカデミー学長・駿河台大学名誉教授 原田 三朗

公文書管理法が求める行政文書管理が実現すれば、行政のかたちは「静かな革命」として劇的に変わる。しかし、情報公開法の負の遺産である簿冊文化は強固であり、まだ公文書管理法による文書管理の改善は進んでいない。その解決策の一つとしての BS フォルダを紹介する。

講演 II 11:00～12:00

公文書管理法に期待する

衆議院議員・元公文書管理担当大臣 上川 陽子 氏

麻生内閣が提出した公文書管理法案について、自民党を代表して民主党とともに超党派の修正協議をまとめ、成立に導いた公文書管理法の産みの親が、施行三年目に入った公文書管理法に対する現状分析と将来の期待を語る。

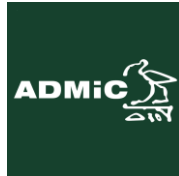
(昼食休憩) 12:00～13:00

講演 III 13:00～13:55

モデル課導入と改善の歩み－大震災を超えて

福島市総務部情報管理課長 村上 敏通 氏

文書管理改善を構想してから 7 年余の歩みを報告する。具体的には、実態調査、専門職養成、予算化の折衝と経緯、庁舎建設と大震災、仕様書策定・モデル課の導入及び維持管理の試行等までの歩みを検証し、今後を展望する。



講演 IV 14:00～14:55
情報共有とAKFの利活用

北海道ニセコ町長 片山 健也 氏

情報公開，文書管理，住民自治のニセコ町が，その核とする情報共有のツールとして利活用している AKF（行政ナレッジファイリング）を，2000 年の導入以来，率先垂範してきた片山町長自身がその得失を語る。

（休憩） 15:00～15:10

講演 V 15:10～16:10
行政文書管理の状況と課題

内閣府大臣官房公文書管理課長事務代理 後藤 一也 氏

平成 25 年 2 月にまとまった公文書管理法の施行初年度である平成 23 年度の国の機関等における公文書等管理の監査結果に基づき，行政文書ファイルを中心に管理状況，点検又は監査の実施状況と改善の方向について報告する。

質疑応答と

閉会のご挨拶 16:15～16:30 ADMiC 理事長 廣田 傳一郎

なお，講師及び演目が変更されることがありますので，あらかじめご了解をいただくと幸いです。